京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金…▲郵稅一ヶ月十三錢 大祭日及び日曜日は休刊（日刊）
廣告料金 五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

京城居留民團公文

京城居留民團告示第十九號
明治四十二年度當民團歳出豫算左ノ通更正ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ
明治四十二年十一月十五日
京城居留民團民長代理 助役 林田茂七郎

歳出 經常部
第十二款 豫備費
既定豫算額四千百三十二圓
更正豫算額九千三百二十二圓
第一項 豫備費
既定豫算額四千百三十二圓
更正豫算額九千三百二十二圓
小計
既定豫算額十六萬三千九百五十七圓
更正豫算額十六万九千百二十七圓
臨時部
第四款 公園費
既定豫算額二百圓
更正豫算額○
第一項 公園設備費
既定豫算額二百圓
更正豫算額○
第五款 教育費
既定豫算額二萬五千百六十圓
更正豫算額二萬四千四百圓
第一項 小學校費
既定豫算額二千八百九十八圓
更正豫算額二千七百六十九圓
第二項 幼稚園費
既定豫算額四十五圓
更正豫算額二十三圓
第三項 高等女學校費
既定豫算額一万六千七百七十七圓
更正豫算額一万六千五百三圓
第四項 中學校費
既定豫算額五千四百四十圓
更正豫算額五千百五圓
第六款 特別會計補給費
既定豫算額四千七百五十圓
更正豫算額四千七百五十圓
第一項 漢城病院補給費
既定豫算額三千七百五十圓
更正豫算額三千七百五十圓
第八款 衛生費
既定豫算額六千九百二十圓
更正豫算額三千七百二十圓
第一項 傳染病豫防費
既定豫算額六千九百二十圓
更正豫算額三千七百二十圓
小計
既定豫算額六萬二千二百六圓
更正豫算額五万七千三百三十六圓
合計
既定豫算額二十二萬六千百六十三圓
更正豫算額二十二萬六千百六十三圓

甘茶澁茶

▲結果と原因
喧嘩して人を害す、鍵を打て人を刺す殺は是れ一なりと雖も情は是れ決して同じからざるなり獄を斷ずるもの心を用ゆるは亦た此點にあるべく、一は終殺の刑にあふも一は不らず、是れ尤もの次第とす。世に善を行ふものあり、而して其の心裏を窺へば善意些もあるなく、錦繍馬勃を裹むが如きもの滔々皆な是れなり。數理プラス三にプラス三を乘ずれば則ち數の九を得れども、數の九を得る者啻にプラス三にプラス三を乘ずるを以てする者のみに非ずして、マイナス三にマイナス三を乘ずるも亦た之を得るなり、唯其の結果の善なるをのみ是れ見る時は偶々以て變挺の誤謬を生ず。

▲武士道の誤解
武士道のこと往々にして誤まらる。武士道は唯武士の獨り行ふの道にして餘人の預り知るべからざるものゝ如くに解するは甚だ誤まれるなり。世に道徳なるものあり、武士之を行へば則ち以て武士道と名くべく、商人之を行へば則ち以て商人道と云ふに何の妨げか是れあらんや。而して其の所謂人道なるものは古今東西殆ど異ることなく、智仁勇三者、是天下之達道也と中庸に見ゆるは、即ち支那の人道にして又た支那の武士道なり、伊太利に於て之を信善美に節むるも、近世學者の之を智情意に代ゆるも同じく、是れ人道の分類にして天下の達道たるを失はざるべく亦た以て武士道と稱するも何の妨ぐる所ぞ。然らば則ち武士道は唯武士の專有物に非ざると同時に、又た日本の固有物にもあらず。

地方通信

▲木浦通信

●民團の殖林計畫 當民團にては部分林法に基き來春より居留地附近の某地をトし殖林事業を起するの計畫あり豫て某氏に其調査方を囑托しありたるが今般調査濟みとなりし由

●濟州税關監視所 濟州島は當木浦税關の管轄に屬すれども當地とは九十餘浬の遠距離にして反つて日本内地肥前の五島方面へは帆船にて順風なれば二十五時間以内に航し得るの便あり爲めに從來同島は當税關の管轄に屬するに係らず税關取締り上殆ど別天地の如き觀あり當局にては大に鑑みる處あり來春より同島に税關監視所を設置し輸出入貿易の取締りを嚴にすべく内定せりと傳ふるものあり

●木浦と電燈會社 内地の某大資本家は當港へ電燈會社を設立せんとの計畫あり兩三日前腹心の某氏を派し實地調査を遂げし由なるが其結果は頗る良好なりと云へば何れ近々具體的の成案を見るべしと因に電燈會社の設立は當地有力家間に早くより唱導され居れば愈々着手の曉には共同設立の事となるべしと云ふ

▲平壤通信

●平壤商品陳列所 當觀察道に於ては先般來當地に平安南道平壤商品陳列所なるものを設立し農產、工藝並に參考品を陳列し公衆の縱覽に供し斯業の發達を計らんとの計劃ありしも位地の撰定等に就き今日まで遲延せしが平壤部街は恰も舊市街の中央に位するを以て愈々右へ設立することに決し先日來より修繕に着手すべく既に農商工部より當分の維持費として金七百圓補助し來りしも行々は地方費を以て維持する筈

●新築せし警察署 平壤警察署新築廳舍は近日落成の筈なるが本月末か遲くも來月初めには移轉執務すべし

▲義州通信

●義州の最近物價 義州に於ける昨今の平均物價を聞くに左の如し

大豆一石	四、六〇	小豆一石	七、七〇
白米	三、〇〇	大麥	二、二〇
小麥	五、三九	稗	二、七〇
粟	九、三〇	玉蜀黍	四、三〇
高粱	四、〇〇	牛皮百斤	三四、六〇
麻布一疋	一、四〇	明細一疋	九、〇〇

右の内小豆は水害の爲め稍高價を唱へ居れるが大連方面に於ける大豆の商況の氣配あり白米は日本内地豐作の影響漸次活氣を呈し來りたるより益々昂騰めの傾向あり又粟は不作の爲め高價を唱へ居れど漸次引緩みの模樣なりといふ

●新刊紹介

●伊藤公と韓國（京城日報主筆法學士原田豐次郎著） 伊藤公が大命を奉じ統監の印綬を帶びて韓國に莅みし以來滿州に非命に斃れて迄韓國に其心血を灑ぎたる公の傳記中の最も重要部分の事蹟を叙述したるものにして韓國變遷の次第もよく之に由て窺ひ得らる公の事蹟を知らんと欲するものは勿論韓國を知らんと欲する者の必讀すべき良書なり卷頭には公の最近の寫眞及び退韓當時の留別の詩の寫眞版をも添ふ好箇の紀念品たり（價五十錢京城本町日韓書房）

●國民評論（初號） 政治行政財制經濟教育宗教有ゆる方面に向て論評を試み上は政府に教ゆ下は社會を導かんとの大抱負を以て現はれたる雜誌にして本號には社説に最近政爭地圖、論說に杉浦重剛の興敎の根本、戶田博士の取引所問題、本多氏の現時の財政經濟、木山の國勢に對する敎育、小寺の憲政と政黨を載す其他史傳、名士談叢、海外評林、批評、文苑、時事雜報漫評の欄を設けて有要の文字を聯ね無益の裝飾なき所最も妙紙質又た佳し偏に將來の發展を祈る△四六二倍版九十二頁△十五錢△東京赤阪青山南町六國民評論社發行

●東京經濟雜誌（一五一六） 金融の景況、關税同盟論、商業と工業との關係、投機取引失敗の原因、工業國としての日本、日本郵船の處決如何、殖民地關税問題、英國豫算案の下院通過、鋼の產額及價格、國庫歳入出現計其他諸調査法令商況等例によつて記事豐富△十二錢△東京々橋彌左衞門町經濟雜誌社發行

●韓國（農商工月報一周年紀念號） 韓國の學生、韓國水產業の將來、韓國の鐵道敷設に就て、大同江流域の富源、韓農の改良其他十數章の韓國に對する重要記事論評あり皆な現代名士の筆になれり△十錢△東京府荏原郡北品川御殿山韓國農商工月報社發行

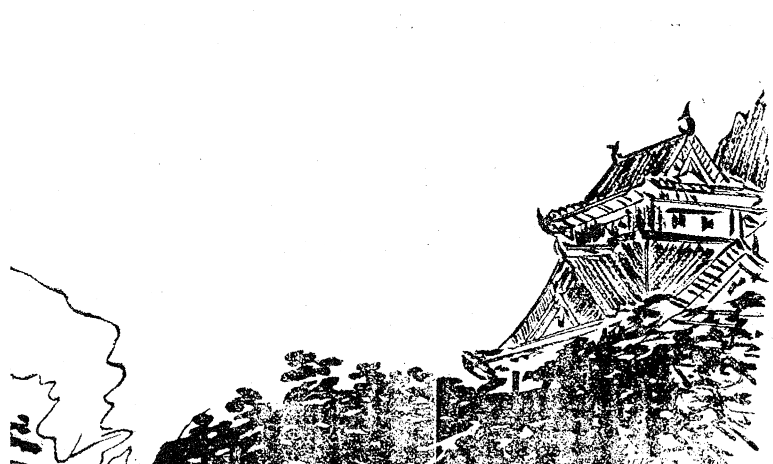
●韓國外國貿易月表 七月分の貿易狀況を載す△關税局發行



第三十四席

伯山改 神田松鯉口演

此時白縫は只今の一戰に怒て其拔勞賜ひしならん、妾は代りて一防ぎ仕らんと聞、忠國頭べを打振り 忠「我れ始めは洛に合戰ありしといふ事を敵の流言ならんと思ひしに今うの英氣甚だ鋭ときを見れば全く僞はりにもあらざるべし假令御曹司敗北し給ふとも知勇兼備萬夫不當の良將なれば討死ばし賜ふまじ然れど日來は馬前の臨を取りし九州の大名今日忽ま讐敵となり、後詰を俟つの便りなければ御身等が寄手の兵者を百騎二百騎擊ち取るとも我れに於ては益少くなし、さしも九州に名たる御曹司の居城を攻られ女づらを相語て防禦せし杯と言れんも口惜し、依つて我は矢種の限り戰かひ潔ぎよく腹かき切らんと思ふたれば搦手へ敵の廻らざる內御身は此所を落ち伸び御曹司に環會ひ進らせ我が志ざしをも傳へ合戰の有樣を物語られ候へ……」と仰せに白縫淚さしぐみ 白縫「我は女兒の身なれど父の子にして爲朝の妻たり、今本夫の生死を知らず父又討死し給ふを餘所に見て爭で落ゆき侍るべき殊さら幼なきより母御に後れまゐらせ父上の慈愛に人となればさせる孝行は盡さずともせめて死出の旅導して、三途の川の魁けをし侍らんと思ふ身なるに無理に落よ活てよと仰するこそ世に存命へて猶は憂きを見よとの思し召か、父上の仰せに背かじとは辨まへ居れど是れのみは一向承け引き難く侍ると最と切なる彼の一言に猛き心ろも弱りゆく父の忠國、忠「抑は道理りなるといへど凡そ生を享けたるもの、子を思はざるはなしと云ふ況してや我れ子といふもの只御身のみ我が年波の寄るをも知らで荒き風にも當じと育て成長に及び、過世如何なる赤繩なるか思ひもかけず、源家の御曹司を聟として望み足れりと思ひしに生者必滅の理りを脫かれず、此の大軍を引き受け屍を戰場に曝すこと之れ武士の常體あへて悔る所ろなし、然るに父が亡跡を葬はんとはせず最と聞分けなし……」と言ふ折りしも矢叫びの聲間近く聞へ高間四郎鎧に立つ矢數多にて黑皮威しの鎧も鮮血に染り大床近く走り入り息つぎあへず 四郎「敵は既に二の木戶まで攻め入りまして吉田兵衞も討れ候、某防ぎ矢仕つる間に疾く御生害あるべし」と言すて又も引返して敵中へ走り入りました、忠國は莞爾と笑み 忠「されば最期の一戰してこゝろよく腹搔き切らん」と言ながら椽より馬に閃りと跨がり驅出でました、父に續いて白縫も驅出さんとする袖を引留めまして 八代「妾は夫紀へ治ね洛にて討死し侍るならんと思へば存命へたき心なけれど、斯くなる上は夫は夫の忠義を推量り君の御先途を見屆け進らすべく思へばなり、一旦大殿の大心を安めてなは逃れ難くは其時こそ兎も角もならせ給へと屢々諫めて馬に抱き乘せ自己轡づらを取つて西の門より落行きました、忠國は討殘されて四五十騎の兵を從がへ血戰數剋にして、終に寄手の軍兵を一の木戶まで追退ぞけ其の身も敵ヶ所の深疵を負けまして再たび舊の所ろへ立歸り見ますると既に白縫は落ちたりと見へます體に打歡び高間四郎を近く招き 忠「汝じ我が介錯して敵に首を取らせぬやう早く火を掛けよ」と云ひもあへず、士卒は脫ひで鎧投げ捨て腹十文字に搔き切りました、四郎は主君の介錯致して館に火を掛けましたので忽ち炎々と燃上ります時、其の身も火中に飛入り亡せました、彼の白縫は八代以下廿余人の侍女を伴れ西の門より驅せ出でますに此所にも寄手は廻り居りまして暗にも見めく兜の星數の兵者、それと見て須破城兵は落ち行くぞ、我れ討取らんと群がり來るを蹴て爲朝の畜狩ました彼野風白縫の先に立ち門よりさつと走り出で寄せ來る軍兵を當るに任せて嘶倒します、冑甲要なき雜兵は向脛を橫に拂腰を喰付れまして右往左往に亂れ騷ぐ容樣白縫八代等は太刀長刀の刀尖を揃へて吶つと喚いて走り掛り各々東西に切り靡け左右に薙ぎ立てたり



京城新報

地方行政の改善

知事に大人物を要す

韓國に統監政治を布きてより年を閲すること既に四年、而して治績の見るべきもの甚だ多からざるは、遍に地方行政機關の振興せざるに職由す。明治卅九年の第一協約に於ては、唯僅に外交權を掌司するを得しに過ぎざりしも、越て其翌年には内政をも司掌し得るの第二協約の締結を見るに至りしを以て、余輩は先づ第一着手として當路者が力を地方行政の刷新に傾むくべきを信じ、又た如斯すべきを希ふの餘り屢々献策したるよもありしが、豫期は之に反し希望は之と違ひ、前の伊藤統監は漸進主義を執るとかにて、專ら心を中央行政の革新にのみ盡せり是れ根本に於て既に韓國統監の方針を過まりしなり。

韓國が今日の荒敗疲亡の境遇に陷りし所以が、中央政府の獨り横暴を擅にし地方を擧げて皆な之が犧牲に供したるに由るにあるものにして、中央行政機關の完備さへ見るに於ては、直に地方の振振は得て待つべしとなすが如きは甚だ早計にして未だ以て見の當れりとなすものにあらず、各所に割據したる獨立の小君主の各々其の領土を治め、各藩相競ひ、制度文物各々相備はりし我が昔時の藩の如きものにして、若し此の韓國に在りしならんには、一たび中央政府の刷新すると同時に、地方の散賑も得る見るべしとするも、韓國の如き狀態の國柄に在ては決して然らざるなり、爲すべきは唯爲政家の横暴を除けば足れり、力を地方の行政に注がずして中央に集注したるの事蹟が、即ち余輩が今日に見る丈けの事蹟にして地方の疲弊は舊の如く農事の改良、道路の築造、亦た見るべきなきは、地方行政に留意せざりしが爲めのみ、農事の改良、造林の經營、道路の築造、漁業の奬勵乃至は教育の如きに至る迄之が増進發達を圖るは、一に係て地方行政の力に俟たざるべからず。

而して地方行政の改善を行ふには、必ず先づ地方官其の人を得ざるべからず無能なる現時の韓人觀察使をして地方行政の衝に當らしめ、府に置くに僅に書記官警察部長の二三の日本人を以てするが如きにては、到底行政の實を擧ぐる事は難し。觀察府は贅瘤なり觀察使は知事なり。今理事官を移して觀察使たらしめ、理事廳をして觀察府たらしむるは最も容易にして最も適當なるの策なり、唯現時の理事官の其の任に適するもの〻少なきは余輩の憂となす所なり、理事官をして直に知事の任に當らしむる以上は、斯かる創始の場合にありては、必ずや其の人大人物たるを要するは、我國明治の初めに知事に奈良原、中井、三島の如きを擧せしと同じく、少くとも現時の次官以上の人物たらしめざるべからず、今や當路者漸く覺め、新に地方行政調査委員會なるものを設け、根本的地方行政の刷新を謀ると同時に、岡内部次官は桂首相等と此の件に就き熟議する所ありと聞けば必ずや其の見るべきものあるべし余輩は矚目して之を俟たん。

東京電報

▲陸軍の軍團組織 我陸軍にては戰後師團の增設に伴ひ歐米陸軍に於ける如く軍團組織とせん議あり目下軍事參議官の重要宿題となり居れり(同上)

▲末松子と教育係 末松謙澄子は昨日付を以て韓太子教育係及宮内省御用係を免ぜらる(拾八日)

▲韓儲の補育總裁 天皇陛下には昨夜岩倉宮相を召させられ韓太子補育總裁として充分なる効果を期し伊藤公爵地下の靈を安んぜよと御諚あり宮相は謹んで御受けし韓太子に言上したるに非常に滿足ありたり(同上)

▲補育總裁の任命 韓太子補育總裁左の如く任命せらる

韓國皇太子補育總裁仰付らる 密樞顧問官子爵 末松謙澄

▲桂首相の西下期 桂首相は豫定の如く愈々伊勢太廟參拜及大坂造幣局視察に向ふ事となり拾二月上旬下阪に内定したり豫算内示會は旅行終了後開く筈(同上)

▲試驗問題漏洩事件 中等教員檢定本試驗問題漏洩事件は當局者も其事實を明言し解決に就ては文相旅行中なるも調査の進行に伴ひ大臣の在否如何に拘はらず責任者の處分を行ふ可しと(同上)

▲新刑法と囚徒增加 新刑法實施以來刑の長期に亙りたる結果在監囚人增加し監獄費六十餘萬圓の不足を生せり(同上)

▲當局と米國航路 南米航路を始め日米間航路に就き斷業者は大に前途を悲觀し居れるも政府は飽迄奬勵し益奬勵する方針也(同上)

▲宮中午餐會御召 天皇陛下には二十日閑院宮梨本宮兩殿下を宮中午餐會に召させられ内田大使荒木、秋月兩公使等に陪食仰付らる〻筈

▲生産事業の調査 農商務省にては國家富強策として生産事業の發展を期する爲め生産調査會を設る計畫なり本期議會に該豫算提出の筈

▲海外留學生費額 四十二年度文部省海外留學生費は二十六萬圓にして既に二十五名を派し尚ほ年度内に數名を命ずべし而して四十三年度は二十八万三千圓を計上し本年に比し二萬三千圓を增加せり(同上)

▲電車市有の前途 東京電車市有買收價格は五千八百万圓として市會に附議せらるべし然るに大株主中には右價格にては應ぜざるべき意向なるを以て前途頗る遼遠なり(同上)

歐州電報

▲露國商相の任命 露國銀行頭取シヲシエフ氏は商務大臣に任ぜられたり(十八日着)

▲土國議會の開會 土耳古議會開院式に賜はりし勅語は同國と諸外國との關係親密なるを述べらる又國會議長は青年土耳古黨前議長クザバンヤ再び當選したり(同上)

▲倫敦の金利低落 倫敦の金利は其後長期短期とも總て低落す(同)

北京電報

▲清國の洋風採用 西太后大葬後政界變動なく服制は西洋風を採用するに決し先づ軍隊、警察官等より之を實行する筈なり(十八日)

雜報

極東經濟の前途

米國近時の對清策はフエヤバンクス氏の遊清クレーン氏の失言タフト大統領の沙市博覽會に於ける演説若くは布哇の防備承認等に徵し何人も明かに其の眞意を了解し得べし但し米國が貿易上の競爭を完成するは到底近き將來に於て實現し得べきものにあらず何となれば米國の現狀は人の知る如く尚また原料產地たるに止まり製造品の輸出は更に幾多の歲月を待たざる可からざる事情あり殊に對外交通機關たる海上運輸の如き自國沿岸の交通すら不便を極め居る有樣なるを以て今遽かに之を如何とも爲し能はざるが爲なり只だ關係列國の最も注目を要するは其の巨大なる資本を有するの一事とす現に極東に於ける唯一米國の事業とも稱すべき韓國雲山金鑛の如き年々五百万圓の收產中三百万圓は米國の所得に歸しつ〻あり滿洲と中清とを問はず將來鑛山鐵道等の事業に於ては十分他を凌駕するに足るの實力あるを以て錦に溯漢川漢の借款問題に就ても英佛獨は米國の加入を喜ばざるの色を呈したり要するに投資事業に就ては勿論有利なる地位に在れども貿易上に關しては未だ以て恐るべき競爭對手と見るに足らざるべし而も更に米國が此の點にまで其の手足を伸ばすに至らば極東經濟の前途は豫想外の變化を來すべしと某外交家は語れり

京城居留民の勢力

目下京城に於ける吾が居留民は約三萬人に達し保護政治の進捗と共に將來倍々增多の形勢あるが試みに民團法に依り現に實施しつ〻ある自治機關の規模を顧みれば其歲入豫算は二十四萬餘圓を計上せられ日本の都市中に在ても多く其比を見ざる可し是れ少くとも漢城に於ける大勢力にして若し將來京城市行政の統一を見るの機あらば吾が居留民は韓國側を相率ゐて其發達を期するの位置を有す而して眞に韓國の指導啓發を行はんと欲せば統監政治の完備と相待ちて此國民的勢力を利用するを要す然れば吾が在留民は產業に其地步を確立するのみを以て本位とせず如上の見地を以て念とし韓國民を吾が勢力の下に包容し同化するの心掛けなかるべからず然るに京城居留地の自治行政を顧みれば每に蝸牛角上の爭を事とし次第に退步の傾向あるは實に嘆慨に耐へずと某氏は語れり(電通)

水道會社の魂膽

水道會社對理事廳の應答は既報の通りなるが今度の失態により龍山民團への交涉は斷絶の姿となりたるにぞ龍山民團は更に附近鷺梁津に於て最近に落成すべき水源地より給水を仰ぐことゝなりたる爲め水道會社は齎入れの大得意地を失ふ事となり加之京城市民の輿論頗る面白からず固より同會社は設立當時よりして既に永久持續の意志なく鐵管の如きも選擇を嚴にせず安物をのみ旨として速成せし如き跡もあり旁々今度の出來事に逢着し愈々放賣の臍を固め種々言を構へて一意賣附けに焦慮せるは見へ透きたる事實にして同社の聲言は三百万圓の工費を要せしと唱ふるも果して如何にや此際會社にても充分誠意を表して交涉なさば其筋に於ても絕對に買上げを非認するものに非ずと

民長事務の引繼

熊谷前民長退職に就き其事務引繼は規程に據り十五日の期間なるが既に一切の調査を完了し事務引繼書を調成して今明日中には林田民長事務代理との間に調印を了る可し其引繼書の内容を摘記せんに緒言に於て三十九年八月十五日初期民團民長に公選せられ爾來時世の發展と共に戶口の增殖著しく從て諸般の施設を要すべきもの夥多なりしも幸に大過なく退職し得たるは偏に歷代の民長又は總代の遺されたる計畫の餘勵なりと述べ更に事務を分掌して第一規則第二民會第三職制及處務第四給與第五學事第六衛生第七病院第八土地及營造物第九財務第十公印第十一雜件第十二簿冊目錄とし各項詳細に之を說明し一目施設の跡を窺ひ得べしと

行政調査會の新設

統監府現地方行政制度の根本的刷新を期し特に地方行政調査委員會を新設する事に決したるが今其組織に關する内容を聞くに調査會に委員長一名、委員四名、幹事、書記、若干名を設き委員長には統監府總務長官を委員には内部度支部、農商工部、學部の各次官を以て充て幹事には統監府書記官を充用すと

兇行者の取調困難

伊藤公暗殺者に對する豫審取調及該件眞相調査の爲め哈爾賓に出張中なりし溝淵檢察官は既に歸廳し去る十四日より豫審に着手したるも犯人は唯私怨の爲め公を殺害したりとの一點張にて錯綜せる一時の關係に就き容易に自白せず大に取調べに困難を感じたりと

瓦斯の現供給量

日韓瓦斯會社は目下夜を日に繼ぎ瓦斯供給工事進行中なるが豫定によれば天長節迄には五萬立方呎を供給す可き計畫なりしも民團との交涉遲延せし爲め其時機を失し現在供給せる量は僅かに一万立方呎に過ぎず然れば申込全部を完成するは來春なる可しと

宮相と補育事務

別項東京電報には岩倉公韓太子補育總裁に任せられし如く傳へられたるが今當局者より聞く所に依れば右は總裁に任ぜられたるに非ずして單に其事務を執らしむるものなりと

●新設局舍と當局者

昨年中電線の延長したるもの約千里にして今年は經費等の關係より五百里内外の架設に止まり本年度に於て局舍の新設さる〻もの尚十五箇所を剩せる由なるが右は北韓に於ける營林署、金鑛、南韓に於ける漁業者等の利便を增進せんが爲め其等の諸地方に增設せらる〻筈なるが今置局に關する當局者の意見を聞くに各地方の民度を精査するは言を俟たざるも假令ば鐵道開鑿工事中の如き五六百人若くは千人の人口一所に集團せるも一朝竣工の曉には同所に一人の姿だに止めざる事あり又長生浦附近の如き漁業地に於ては漁期の關係上十一月より三月頃迄千餘人の人口輻輳するもそれ以後は全く一人の在留するものなし之等一時的のものに對しては驛員をして取集め又は配達をなさしむるか乃ち遞送人の遞送途中十分二十分間位同所に立寄り集配をなす等内地に於ては先例なき便宜の取扱をなしつ〻あり今回增設の豫定なる十五箇所の局舍も人口、民情、商業關係、地理等詳細調査中なりと云ふ

●明太と米國産干魚

韓國に於ける明太魚の產額は年々約百万圓の間にあり總じて明太魚は韓人の上下を通じて最も嗜好さる〻下物にして如何なる食膳にも其の影を見ざる事なく韓國に對し明太魚は實に重要なる海產物の一なるが昨年末より神戶を通じて米國產干鱈の輸入を開始せるものあり其輸入額も亦た著しき高に達し居らざるも價額の低きと製造の纖梅大に韓人の口に適し追々需要增加の有樣にて爲に明太魚の賣行を鈍からしむるの傾を成し來りしが若し此趨勢にして益擴張さる〻に於ては今後明太魚に取りては由々しき大事たるべしと云ふ

●民長問題と統監府

民長後任問題に對する市民の激昂は正さに熱狂せんばかりにて居留地自治行政上の一大根事たるを以て統監府にては潜かに其形勢を注視し善後の方法を進めつ〻あるが如し而して若し全く市民の叫ぶが如く議員の態度輿率を缺き輿論を無視せる事實なりとせば民團法施行規則第五十條に依り統監の權限を以て民會の解散を命じ新選擧を行ふて輿望に適へる後任民長候補者を推擧せしむべしと云ふ(電通)

●居留地稅則調査會

當居留地に於ける稅則の改正は屢々叫ばれたるも今尚ほ實施するに到らざりしが今聞く處によれば民團成立の當時内部に於ては助役を委員長として專ら調査を進め外部に向つては各官吏及び居留民の有力者を集め研究を重ねたるも遂に流案となり更に本年に入りて稅則調査委員會を組織し更に再び調査する處あらんとせしが偶々民長問題の紛擾により今は中絕の姿になり居れりと

●鐵道運動員の歸韓

鐵道運動の用を帶び豫て東京出張中の仁川會議所書記長萩谷籌夫氏は政府は固より各政黨間の意向も頗る有望なる見込付き爰に用務の一段落を告げしに就き愈々本十八日退京歸途に上りしと

●鐵道期成會の發會

同會に於て既に發起人間の協議も纏り何時にても發會差支なき迄に運び今は唯中村商業會頭の歸來を待ちつ〻ある次第なるが同會頭も兩三日中愈歸京の筈に就き廿五日を以て發會式を擧ぐる筈

●歸休兵の出發歸還

咸興駐屯步兵第六十四聯隊に於て本年の歸休兵は總數六百七十九名なるが去る十日除隊式を行ひ翌十一日輸送指揮官村上中尉引率の元に出發歸還せり

●紀念日と官衙休業

本十八日は韓皇が維新の宏謨を立て廟社に誓告したる紀念日なるを以て韓國側諸官衙及會社新聞社等は休業して祝意を表せり但し宮中には何等儀式なし

●漢江新航路と保險

漢江航路に對する保險契約取扱に關し神戶海上保險會社より該航路調査の爲め社員を近日中特派せらるべしと云ふ

●仁川の店員奬勵會

仁川店員奬勵會は目下精勤店員を調査中なるが近日中評議員會を開きたる上表彰式を擧行せらる〻筈なりと云ふ

●陸軍經理會議開會

龍山なる軍司令部に於て明十九日より駐韓軍の經理會議を開會する筈なりと

龍山通信(十六日支局報)

▲經理官の來龍 別項經理會議出席の爲め臨時韓國派遣隊より三等主計正西村竹次郎、一等主計入江島太郎、一等主計山田鎌太郎、二等主計山口敬三、二等主計安原信義、三等主計村孝吉、同齊藤昌男の諸氏本日龍山に着せり

▲電線敷設請願 日韓瓦斯電氣會社が龍山新市街に線路を延長するの計畫ある由は曾て報道し置きしが愈々數日前會社は南大門外十五間道路より漢江通二丁目の角に至り龍山停車場前に廻り更に漢江通一丁目角に出で鐵道官舍の中央を過りて其終端に達する線路を敷設すべく道路使用願を各所轄官廳に提出せり然るに右道路の大部分は軍用道路なるが軍司令部にては目下之れが許可條件に就て詮議中にて不日軍司令官歸任の上其の決裁を經て確定する都合なりといふ去れば愈々敷設さる〻や否は一に軍司令部の許可條件に依て決定すべし因に新舊市街を結合する線路の敷設は居留民の一般に熱望する處なるも滊車線路其の中間を縱貫せるを以て莫大の費用を投じて地下道を開鑿せざるべからず會社も經費多端の折柄當分は敷設困難なる理由あるべきも敷設の日早き丈それだけ居留民の會社に對する感謝の意の甚深なるものあるべし

▲釜山輕鐵驛名 釜山軌道株式會社の輕便鐵道は愈々近日中開通さる〻筈なるが城内、釜山鎭、左水營、南門、北門溫泉場の七箇所に停車場を設け城内、溫泉場間の賃金は三等十四錢二等二十八錢一等三十五錢なりといふ

●特志者木盃下賜 度支部書記官赤倉吉三郎氏は居留民團立學校教育基金へ五十圓寄附に付木盃一箇下賜せらる

●第一校長の東上 當地第一小學校長河合精一郎氏は學事視察の爲め廣島縣へ出張を命ぜられ十八日出發したり

●向田部長の歸任 下仁中なりし向田京畿道警察部長は十七日歸任したり

●小宮次官の歸着 小宮宮內府次官は十七日午後八時十分南大門驛着歸任

●大島事務官歸任 鐵道廳事務官大島氏は十七日龍山驛着にて歸任したり

●宇佐川總裁到着 東洋拓殖會社總裁宇佐川大將は昨日午後新義州へ到着

●境野分隊長入京 鏡城憲兵分隊長少佐境野竹之進氏は昨日來京山本旅館

●齋藤大佐の來着 陸軍步兵大佐齋藤季次郎氏は十七日入京天眞樓へ投宿

●片岡署長の歸任 元山警察署長警視片岡左一郎氏は十七日出發歸任せり

●荻野博士の出發 東大文科教授文學博士荻野由之氏昨日新義州へ向わり

●今西文學士退京 東大文科助手文學士今西龍氏は荻野博士に隨行出發す

▲治外法權▼

宮內府次官小宮三保松は先般東京にて某新聞記者に語つて「統監政治が緩慢にして不振を極むるの非難は從來屢々唱へられたる所なるも何れの事實を指して爾云ふものなるや了解に苦しむ邦人次官と韓人大臣との間柄は頗る親密にして彼等は恰好なる世話女房を貰ひたりとして居常上機嫌なり云々」小宮クンを世話女房に持つたヨボ連は仕合せな事であらう▲又語つて曰く「嚢に宮中の粛清を企てしより多大なる皇室の財產を國有に移せると共に既に約四千人の員數を開放せるより今や韓廷は全く粛清の効果を認め太皇帝の如きも既に所謂頑固黨の親日思想を馴致せるに連れ全く親日思想を獲はれたり云々」と太皇帝の親日なる事は大日本帝國の臣民韓國宮內府次官、臣小宮三保松に依つて證明されたのであるナント之れなら慥かなものであらふがナー▲昨日の官民親睦會には統監府側からは佐竹秘書官が一人見へた計りであつた、其代り司法廳からは渡邊大審院長を初め何れも新調の金線服にサーベルで揃ひであつた成程是れで司法權委任の祝賀會と云ふ事が判かつた▲右の如く金線サーベルの固まりの中に只獨り城控訴院長がフロツクコートにシルクハツトの瀟洒たる姿は萬綠叢中の紅一點であつた▲昨日の祝賀會に市中を練り廻つてへゞヘゞになつた藝妓共百餘名は其儘で一同統監邸内に繰り込み頻りに餘興を演じたそうだ、是れは佐竹秘書官から特に命令があつたとか無かつたとか、そんな事はどうでも宜いが統監邸の入口に嚴然として立つて居た步哨は泣きそうな顏を爲て居たとは見た人の話。

●本年産の滿洲大豆

昨年滿洲大豆の需要は世界的となり將

●天氣豫報 自十八日午後六時至十九日午後六時

北西の風晴

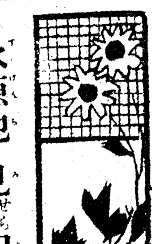
昨年滿洲大豆の需要は世界的となり[illegible]反別は平年より三割に對し本年は其三割の增加を見て九百[illegible]万石に上るならん從つて翌三年を出で[illegible]一千萬石の產額を見るは容易な[illegible]從來滿洲の大豆は產額三百萬石[illegible]

●警備線の延長里程 ▲

通信管理局に於て各種の憲兵隊同分遣所及び警察署等警備上必要なる箇所に警備線を布設して以來僅々數箇月[illegible]ば既成の分百二十八里三十三間二尺にして本年中に延長すべき未成の分七十三里十九町四十五間五尺にして總計二百一里二十町十九間一尺なりと云ふ

北西の風晴

最低溫度 三八
最高溫度 五七、六



水源地を見せる記(四)

翠子

廣袤四町歩余を注せられた構内へ無慮三十名足らずの來賓が彼方に三人此方に四人思ひ／＼に遊弋せることなれば振はざる事甚だし。元來本日は水源地を見せると云ふのが趣意なのであるから我等の爲めに其の要領を說明して呉れる人がある可き筈だとキョロ／＼探し回るけれども皆な餘りに偉さうな方のみで迂濶には物も問ひ掛けられぬ、茲に於て僕は日城子に囁いた「少々無作法かも知らぬが局部局部の擔當者を捉へて聞くことゝ觀念しようぢやありませんか」と云ふと珍らしくも直ちに日城子が觀念したので然らば先づと機械場へと闖入する、擔任の技士とも見ゆる人が椅子を離れて近寄つて來る、後に聞いて知つたのだが水道水源地主任技士田中定三君であつた、田中君の說明頗る懇切である五十八呎平方水深八尺の彼の無蓋沈澱池にセントリフユーガルポンプ二臺で江水を汲上げ其上澄の水は鐵骨コンクリート製の屋根に更に土を盛り芝を植ゑ冬季にても水の氷らぬ裝置ある各百十六呎に七十呎の廣さを有する五個の濾過池に導かれ此所にて三呎の厚さを有する細砂に濾過せられたる水は同じ裝置の六十呎平方水深十呎の有蓋淨水地に湛はられ必要に應じて此の二臺のメインポンプに依りて大峴の配水池に送らるゝのである、現設計は一日四百萬ガロンの給水力であるが目下は漸と一日百万ガロン内外を給水すれば足るのである、故に此のポンプなぞも終日運轉はさせない、自分の下に廣田と云ふ助手が居る、其の他は韓人が三名——此れは主として原動力の方に使つて居る。起工は三十八年十月堤防の方から着手し四十一年五月に竣工しました總工費は三百萬圓を要したとの事であるが夫れ等の點は私達には分明せぬ、土木の方は島崎行敏君が擔任し川底の鐵管埋設は畠中と云ふ人が擔任し器械類は總て私が据付けました、工事中は平均一日三百五十人を使役し一人宛給料は一日四十錢乃至八十錢位であつたとの事である、此れ丈け聞いたから後は當日特に開け放たれたる各重要個所を覗くべしと無蓋沈澱池を覗く畠中君說明して曰く此の細砂は十三箇月になりますが未だ漸と三呎の六分の一しか汚れて居りませんと云ふ、六分の一と云ふと五吋だなと思ふ目先きの砂の上を小さな魚が五六尾日影を慕ふて遊べるを見る。田中君を顧みて暴徒でも襲來した時には何う避難し何う此の水源地を保護する樣になつて居るのですかと聞く、イヤ彼は其幟憂は有りませんと云ふ、イヤ現在は左樣でしようが過去に於ける未來どんな考へはと聞くと、當廠居住日人は拓殖農作物取扱場員、雜貨商[illegible]七八は暴徒が襲來したら一齊に靜かに此の有蓋濾過池内へ潜伏することに相談を決めて居るのですと云ふ。

兎に角此の水源地の保護も等閑に附せられてるのである、抵抗力を有せざる居住民の覺悟は夫れでも可からうが萬一機械でも根本から破壞されたら何うするのだらう。バーハム君は其の時は暴徒を對手取つて損害を賠償させる迄さと思つて居るのであらう。

玄海洋上の悲劇

……薩摩丸甲板より……村長の覺悟投身……

水や空、空や水なる玄海洋上風冷かに波立ちさわぐ十六日朝六時四十分頃對州沖(北緯三十四度五十八分東經百二十九度二十一分)を釜山に向ひて進航中の關釜連絡船薩摩丸甲板より身を投じて海中の藻や現れ其影さわも泡と消ぬ失せける一船客あり日は對馬水道に曉けそめて朝風寒き折柄なれば蚤起の乘客も室内に籠り唯掃除夫のみ例に依つて六時三十分頃甲板の掃除を了へ去りし後にて淺井事務長が一廻りする際は何等の異狀をも認めざりしが驚て事務室に引返したる間も僅か五分ばかりなりけむ、途中にて行違ひし伊藤事務員が後部甲板より慌たゞしく馳せ來り「只今艫の甲板腰掛に此羽織が有りました」と差出せし大島紬書生羽織一枚なり、下卑たるものにはあらで確かに見覺ねもあれば直に一等室付給仕を呼びて一見せしめたるに這は擬ひも無く自分の受持てる一等船客の着用品なりとての事に折返し其主を尋ねしむれば一等室には主の姿無くて床上に一通の封書を留めたり、裏書は「和泉泉北郡濱寺村大字舟尾村古藤甫」とありて表に「薩摩丸船長殿へ御依賴」と宛てたるにぞ淺井事務長は寺中船長と共に開封するに

謹而一書を船長閣下に呈し候、生事情ありて今晩玄界灘に投身可致候、甚だ御手數恐縮千萬に候得共遺留品は左記の所迄御送り被下と同時に此旨御通知被下度

左記

泉北郡濱寺村大字船尾古藤土鮫太郎方

字句明瞭に健筆もて書き遺せし書面に接したる船長は意外に驚き、投身の未だ間も無き事なるを知り船を逆航し暫らく附近の洋上を搜索せしも白浪突しく風に碎くるのみにて屍体の片影さへも發見せざりしかば止む無く針路を復して午前九時釜山に入港し此旨水上派出所に報告したり、されば水上巡査も取調の結果全く覺悟の上の投身なる事を認めて遺留品を遺書通り郷里に送還する手續に及びたるが遺留品は羽織及び外套を始めトランクに入りし金時計等二十五點にて現金は僅かに六圓九十錢餘に過ぎず、抑も何等の事情に因りて斯く悲慘の死を遂ぐるに至りしやは前記船長に宛したる書狀の外さらに遺書らしき物無ければ確かに確かめ難れど名刺及び古手帳を一見すれば、本名古藤甫とて正しく大阪府下に名高き勝景地濱寺の村長にして勳七等の肩書を有する公吏なること職員錄にも明か也、而も手帳の記載事項に依りて本人が公金及び借金二万六千餘圓を費消し其償却方に窮したる結果窃かに郷里を逃亡し自殺を遂ぐるに至りし心事を察すべきか、さはれ玄海洋上の泡沫の夢と消ねにし果敢なの世や

▲梨の旦那▼

此間滊車中にて、ほや／＼の新夫婦が、肩を並べて、喃々密のやうな話をして居る樣を見ると、よくも人前を憚らないと、不思議に思はれる位なれのみか旦那殿か、お茶を買ふかと、新夫人に御相談に及ぶ、私はよろし『あんたはんは』僕はよいが、たまへが呑みたからうと思ひ、とは御親切さ極りなし、其内に梨をと令夫人宣ふ。旦殿、それこそ御用と云はぬばかりに、外聞も構いなく、聲はりあげて、梨や!!梨屋は向ふにゆく。旦つくいらつて、梨屋の馬鹿!!列車ボーイは見兼ねて買つて來た。旦那殿大喜びボーイに叩頭百拜、ポチは梨代よりも多し。梨は手早く旦那殿が皮を剝く、夫人は手を出して待つ。旦那先づ一片試ろみ、ウンなか／＼甘いと夫人に渡す。夫人はいきなり丸ごとに噛みつく、旦那殿滿悅至極、甘からうと夫人の顏をのぞき込む。夫人は口一杯。ハイともウンとも云へない。頭を前にてつくり旦那は、又ボーイに甘いさうだ、改めての陳謝。をかしくてたまらなかつた。僕はどうしてもあの千分の一も、噂孝行は出來ぬ。

昨日の祝賀會

△頗る賑盛を極めたり

昨日擧行の司法權委任祝賀會は前夜來の秋雨全く晴れ渡り所謂氣も浮き立つ樣な日本晴れの好日和なりしかば京城全市は近頃になき賑ひを呈したり今其概略を彙報すれば市中主なる商店は午後よりは休業して日韓國旗を交叉し店飾を爲して祝意を表し朝來倭城臺よりは打揚げたる數十發の煙花は劈頭人意を引立たしめ午後三時よりは京城ホテルに於て京城官民秋季大懇親會を開催し官憲の嘈雜を連ねて頗る盛況を極め各券番料理店理髪店の聯合の花車は百數十名の藝妓が揃ひの打扮にて午前八時と云ふに市中各所を笛太鼓の囃子面白く喃々として練り廻りしは蓋し解語の花だけに當日の花なりき尚之れが收支計算に就て發起人側に聞く處に依れば收入は會員二百三十九名此會費四百七十八圓寄附金約四百五十圓合計九百二十八圓にして支出は料理店花車其他餘興の爲め補助として三百五十圓宴會費に百圓新聞廣告料四十圓にして殘剩金の全部は當日の雜費に費したりと

●金光教會員の義擧

▲渡る世間に鬼はなし

仁川寺町二丁目居住の谷本袖治と云ふは女房と諸共に餅賣を爲して幽けき烟を揚げ居たるが人の命は葉に置く露の其れの如く果敢なきものにして此程右袖治は苟且の病が因となりて歸らぬ旅路に赴けるより枕柱とも賴む夫に死に別れたる妻の嘆きは元より貯へとてなければ野邊の送りさへ出來ず其儘亡き骸を一室に安置せる由を聞知せし仁川金光教會は氣の毒の事に思ひ直に信徒中より若干の金子を醵金して葬送せしめ尙ほ四十九日迄の祭りは總て同會にて營み遣る事にしたるにぞ右妻は渡る世間に鬼はなしと嬉し涙に袖乾く暇なしとぞ

●醫院の診察時間

大韓醫院にては今回森安醫學博士の來任を期とし來る十九日より從來の診察時間に多少の改正を加へ院長始め主任醫官は午前十時より午後一時迄各科とも專ら外來患者の診察に從事し同二時より四時迄入院患者を回診せらるゝに付二時後の外來は其他の醫官にて診察し又右の時間内に於て院長は火、金曜の兩日副院長は月水木土曜日に診察せられ尚外科患者の手術は院長若くは副院長刀を執らるゝ由

●擧動不審の韓人

本日午前四時頃南部署山田巡査管内警邏中南大門通り支那町に於て風体怪しき韓人の佇めるを訊問せしに自稱南部會賢坊小公洞十四統二戶宋秉學(三六)と申立てしも携帶の風呂敷包の中には人力車臺に用ゆる座布團二枚及び水道會社共用栓開放器一個を所持し或は賍品にあらずやと身柄は本署に檢束して取調中

●暴徒連累者搜索

仁川署管内に暴徒の連累者なる奈羅北道珍山生れ常時仁川新昌洞居住の黃甚万(二九)江華生れ同徐卜何(二四)の兩名は一昨日仁川署討伐隊の手に捕へられ尚は某方面に潛伏せる連累者逮捕の爲め一昨夜仁川署より搜索隊急行したりと云ふ

●花柳だより

昨日のれ祭り騷ぎに中檢の藝妓衆は總出で朝から晩まで練り歩るいた爲め足を痛めた者、咽喉を病づらつた者續出し樓主は痛く閉口の態である▲藝妓全部同一の扮りであつた中に翡翠の文の助が鼻下に蒼い剃跡を畵き太眉毛を八字に引き黑眼鏡を掛けた樣は一番眼に附いた矢張り一種變つた女である、尤も眼鏡を掛けた理を明せば眼病の爲めである▲井門の鶴香は新來の賣出つ妓なるが此妓の色香に甚だ敷く思ひを掛け空手で五千圓の蓄財を爲し口說いて見んと珍な目論見を立てゝ居る人はダーレ▲花月の光菊と云へば長崎生れではわるが丸ポチャで愛くるしい中々の流行妓なるが此妓何んでも長谷川邊へ近來頻りに電話を掛けて居る其相手の方も若い人らしいとは交換手の立話し▲芝居では成効したが餘り人氣の立たなかつた同樓の奴はつい此程廢業してヘイ左樣なら

●昨夜の新町遊廓

昨日は祝賀會當日なりしかば宴會の落武者連の繰込みなども相應にありて色餓鬼は百十八人此散財高六百六圓十七錢なりしが借ても霜枯時は爭はれぬものなり

●矯風禁酒演說會

金曜日(十九日)午後七時より旭町二丁目名古屋城に於て開催す傍聽隨意にして其演題は「禁酒の必要」米國法學士佐伯半四郎君、「酒害論」日基牧師石原保太郎君

●旭町のボヤ

十七日夜八時過ぎ旭町一丁目法務院官舍附近物置部屋より出火せしも大事に至らずして消止めり

●膓窒扶斯に罹る

本町六丁目七十一番戶松岡六三方同居小池幸成は昨日膓窒扶斯に罹りたり

壽座の潮劇再演

▲一兩日に終演の筈

福井茂兵衛、伊東文夫一派は大車輪の活動振りに滿城の人氣を集め連日大入を占めつゝあるが打揚げ期日も茲一兩日を除すのみなるにぞ當地の最負連は同一座の最も得意とせる潮劇の再演を迫りたるより同一座も又之れを光榮として十九日の舞臺に此れを再演すと云へば定めし大喝采を博すなるべし猶ほ十九日後は藝題を一日替りと改めたり潮劇の配役は前に同じ

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

●十一月十九日 舊十月七日 二黑佛滅 癸未なる△一白● 前後に山河を挾む如き日なり進退去就取捨最も謹愼考慮を要す腰脚の病症發るべし△二黑● 保證世話事を禁ず守成に利あり進取に效なし△三碧● 盜害紛失を防ぎ旅行轉住を禁ずべし中絕不和を惹起する勿れ△四綠● 取引證券の事注意すべし婚姻の示談には吉とす△五黃● 自尊倨傲に流れ失策損害あり情義に迫られて責任を負ふあり△六白● 快欣の日なり大概吉疑咎にあふ勿れ旅行良好△七赤● 利益を得若くは會心の事あり婚姻養子の示談には大に良好△八白● 新事見合の事轉易變更の事吉殊に方針を轉じ仕振を替ゆる等急ぐべし家族從者より損害配慮あり△九紫● 不圖人に[illegible]就職及び備入れ等吉

右は概括的判斷なり各人格別に就ては直接に同館の鑑定を請はる可し

▲無料紹介欄▼

人事部

●求炊事女 年四十恰好のもの至急入用 本町二丁目官舎 桐原

●店員入用 十六七歳にて確實なる保證人有者 龍山京町古田米店(四八〇)

●下婢入用 十四五歳の下婢を求む餘暇には裁縫習字讀書諸禮生花等女子に必用なる教育を施す氏名在社(四七九)

●求職 年廿六簿記に經驗あるもの至急職に就きたし 氏名在社(四八二)

●ボーイ入用 十五歳以上廿歳以下數名入用 南山町三 京城ホテル

二 ●被雇たし 年三十五普通教育あるもの鑛山事業に多大の趣味を有す如何なる危險も不厭 姓名在社(四八三)

物件部

●貸家 本町通り目拔の場所にて貸家あり希望者は來談あれ 氏名在社(四七〇)

●自轉車 英國製コースター付格安に賣渡したし 氏名在社(四七六)

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻椽二階六疊二間廻椽井戸物置湯殿付家賃面談 氏名在社(四七八)

●貸家 北部齋洞廿九統四に安價の貸家數軒あり御希望の方は同所の内尾に就き聞合せあれ

廣告

西

[illegible]

歐米新式 高等裁縫 龍山榮町 田口洋服店 電話三一二番

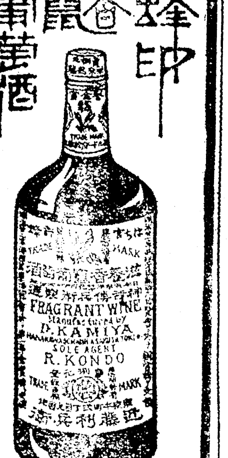
陸軍諸官衙御用達 建築土工請負業 龍山老松町 磯口商店 電話一一九番

龍山若松町 島崎鐵工場 電話四四一番

龍山元町三丁目 長尾醫院 院長 醫學得業士 長尾乙二

本品は其質醇良にて營養分に富み日常の飲料としし身體を强壯にし元氣を增し頗る衞生に補益有

蜂印香竄葡萄酒



名優 洗濯石鹸 專門製造販賣

用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道、湯屋、染物、諸工業用

京城履町一丁目 (電話九三二番)

朝日石鹸製造所

株式會社 第一銀行電話番號

總支店 一、三六〇番 一、三一六番 長三三一番 三三一番 六二番 一、〇二一番

京城支店 長一一一番 六一一番

國庫部、發行部用 支配人、調査部、文書課用 國庫部、發行部、當直用 臨時建築部用 用度係、分析所用 來客用 營業、當直用 營業用

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す 搾場內に於て此に留意し好良の食料を給す

●搾場搾取の牛乳を愛飲せらるゝ御諸君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし



搾取所 [illegible]

荒物世帶道具一切

大坂 合 製白絞油和洋蠟燭和傘岐阜提灯魚釣道具

卸小賣

地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具 各國諸油米穀 銘酒澤龜アサヒサッポロ麥酒 並に買次業

京城本町六丁目

合西 西崎嘉七本店

電話長二一〇電略(ニカ又はニ) 振替貯金口座東京(九四一七番)

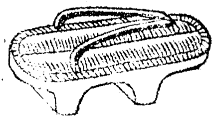


大阪 東京 本舗 津村順天堂

婦人の病ひ 血の道 子宮病 きつけ

東京

足袋



本店東京 京城大和町一丁目 (日の出橋際) 大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番

正札付大安賣 厘毛引なし安心して買へ升

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店

獨逸國スカンシャ自轉車特約販賣店

時計卸商 喜多金光堂本店 京城本町二丁目 電話七五〇番

時計卸小賣 喜多金光堂支店 電話千十五番

明治廿年七月創立 京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番

東京海上運送保險株式會社

資本金一千萬圓 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

醫官衙御用品調達 各學校御用品調達

營業科目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

委託販賣

東京ランバーダ商會代理店 東京中外アスファルト株式會社代理店 東京千代田生命保險相互會社代理店

藤田合名會社

東京博文館發行書籍特約店 東京金港堂發行書籍特約店 山口 臺鹽合資會社食鹽特約店

本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)

出張所 東京京橋南鍋町一丁目 東京新橋三六九二

大根大賣出

澤庵漬用大根

漬物用白菜

農商工部園藝模範場御拂下品

自園栽培

並に●鹽●糠●各種子●農具一式

例年の通り品質特撰の上破格の廉價を以て販賣仕候間續々御用命之程願上候現品配達は來る廿五日より開始仕候追て御希望に依り漬込の御賜にも可應申候

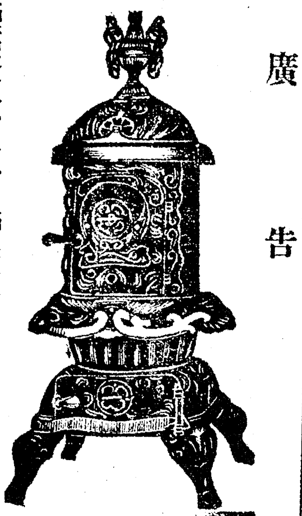
京城本町一丁目(長谷川町筋)

三輪商會 電話三八六番

[illegible]

廣告

暖爐各種



煙突取付並ニ煙突掃除大勉强

京城本町五丁目角 電話四七一番 馬木勇

龍山下町兵器支廠官舍裏入口 電話三六四番 馬木支店 吉

會席御料理御一人前 看四品付酒二本 金六十錢

すき燒其の外應御好

京城竹園町一丁目 遊樂樓 (元三遊樓跡)

京城大和町二丁目 平山牧場 電話二一二

●電話開通 八百三十五番●

唐津石炭直輸入商

並ニ平壤無煙炭あり

京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り

近藤商店

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候 御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目

原金旅館 (電話長一〇七番)

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大上商店

和洋酒、罐詰、精酎、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御希望に依り商品切手調進仕候 (電話二五一番)

綿わた綿ワタ

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類

たやすくうります

御問屋 京城明治町一丁目四ッ角

唐川商店 電話六一二番



美術書畫 襖、壁、天井張

京城壽町二丁目 桂萬吉

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓 積立及繰越金 九拾萬圓

株式會社 十八銀行 京城支店

京城南大門通 (電話四二〇)

本店 長崎市築町

支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州

出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

韓國 日本

其他日本、韓國、滿洲、臺灣、浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

★株式會社 百三十銀行 京城支店 韓國總支店

京城本町二丁目十五番 電話五十八番

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪

東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金津、大聖寺、富山、伏木、新潟

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、細江、牛窓、味野、岩見、岡山

南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷹、高州、本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治

西海道 西條、松山、三津ヶ濱、直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、熊本

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南

清韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 電話十番

瀛船出帆廣告 仁川

貨物及船客取扱店

郡回漕店 仁川海岸通 電話三九番

●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 十一月廿日午後三時出

●大連、太沽行 高砂丸 十一月十八日正午時出

●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月七日午前六時出

●大連行 酒田丸 十二月七日正午時出

●釜山出帆 元山、清津、浦鹽行 立神丸 十一月十七日午後時出

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事